

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第120号

平成30年5月20日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

科学工作で 親子の触れ合い

右のツツジの写真は4月に撮影したのですが、今年のツツジは花の咲き具合が賑やかで発色が例年よりも鮮やかだったような気がします。今は、アジサイがつぼみを膨らませています。もう少しでアジサイが美しい季節になりますね。



ツツジ(4月に事務局撮影)→

ゴールデンウィークも終わり、小学校では運動会が開催されたところも多かったようです。事務局(青少年センター科学部)の事業も本格的にスタートしました。今回は事務局の事業を二つ紹介します。

親子で作る！遊ぶ！科学工作入門



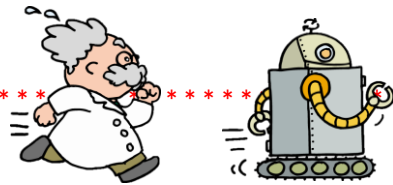
この講座は、「ものづくり体験教室」のひとつで、親子で協力しながらものづくりの楽しさを体験してもらうものです。ゴールデンウィーク中の5月3日(木)、4日(金)の2日間わたり、A、Bの2コースを2回ずつ青少年センターで開催しました。

普段の工作の講座では、参加した子ども達が自分の手で完成させ、その達成感も味わってもらえるように職員が指導しています。しかし、周りで見ている保護者の方にとっては、自分の子どもが手間取っていると、つい口や手を出したくなってしまふものです。「そうじゃないでしょ!」とか)

そこで今回の講座は、親子で一緒に作り、遊ぶという趣旨で、思いっきり口も手も出している企画としました。意外なことに、保護者の皆さんにも材料を用意すると、子どもが工作をしている横で、自分の方が工作に熱中している保護者(特にお父さん)が多くいらっしゃいました(笑)。




	Aコース(5月3日AM、5月4日PM) バランスとんぼ、とぶコップ、もどるコップ	Bコース(5月3日PM、5月4日AM) ふうふうコマ、ストローとんぼ、ペットボトル空気砲
工作中的様子		
作ったもので遊ぶ		

プチロボで競走しよう



走行型のプチロボット(キット)を自作し、決まった(専用)コースを走行させてタイムを競う講座です。4個のモーターを使用し、配線にハンダ付けをするなど本格的な工作です。

今年度は県内13カ所での開催を計画しています。その第1回目(横浜大会)が、5月12日(土)に青少年センターで行われました。

<p>1 開会</p> <p>今回は、8名の参加者が集まりました。指導者セミナーの修了生も講師として工作指導をお願いしています。</p> 	<p>2 プチロボの組立て①</p> <p>講師1人につき、参加者2名の指導となりました。いつもより余裕をもって指導できたようです。</p> 	<p>3 プチロボの組立て②</p> <p>初めてのハンダ付けにもかかわらず、午前中の組立て予定時間を30分ほど残し、全員が組立てを終えることができました。</p> 
<p>4 操縦練習</p> <p>午後はまず、基本的な操縦方法とコースの攻略方法をデモンストレーションを見ながら教わり、各自、操縦練習をしました。</p> 	<p>5 タイムレース予選、決勝</p> <p>タイムレースを予選1回、決勝2回で行いました。操縦に戸惑う参加者もいましたが、全員が完走できました。</p> 	<p>6 表彰式、記念撮影</p> <p>決勝では、30秒台での接戦となりました。今年度から3位の選手まで表彰することにしました。</p> 

新会員「ミットヨ測定博物館」様



川崎市に本社のある株式会社ミットヨは、測定機器メーカーで、ノギスやマイクロメーターの日本国内シェアは約90%です。その本社の敷地内にある「ミットヨ測定博物館」様が、協議会の新会員になりました。既に「中高生サイエンスキャリアプログラム」で、事務局としてもお世話になっております。子ども達の理工系分野への体験活動のために、よろしくお願いします。



昨年8月に、「中高生サイエンスキャリアプログラム」で中高生が訪問した時の様子

事務局から

会員名簿を更新中です。「平成30年度協議会会員情報記入用紙」を未提出の会員さんは、事務局までメール添付で送付してください。近日中に、会員名簿を、全会員さんにお届けします。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)



道端に咲いていた菜の花とポピー
(4月、事務局撮影)→



事務局(科学部)移転